

グローバル時代を生き抜く『どローカル』（地域のあるべき姿）を考える

やまがた商い、寄席

「やまがた商い寄席」は、様々な業種で活躍中の方々を「嘶家」としてお招きするユニークな寄席です。様々な業種で起こっている「嘶」には、益々グローバル化が進むこの時代に持続的成長を遂げるためのヒントが沢山あるはずです。

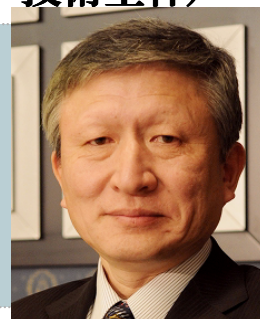
産学官金のジャンルを越えて、自分自身やローカルの強みを再認識し、今後の経営や研究、更には自分自身に対する新しい付加価値を一緒に考えてみませんか？

演目：『革新する山形酒』

嘶家：小関敏彦氏（山形県商工労働観光課 工業戦略振興課 技術主幹）

～嘶家プロフィール～

1956年山形県東置賜郡川西町生まれ。
1978年新潟大学農学部農芸化学科を卒業し、1980年山形県工業技術センターに勤務。
1999年『山形清々』の開発で、(財)日本醸造協会の伊藤保平賞を受賞。
2005年酒類研究科長に就任。2013年工業戦略技術振興課 技術主幹に就任。
携わった特許「好気条件下での高エタノール製成法」「苦味成分生成酵母」等

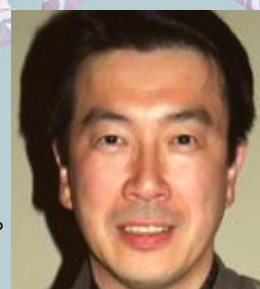


演目：『米水人神100%「どローカル」地の酒を世界へ』

嘶家：相沢政男氏（竹の露合資会社 代表社員 製造責任者）

～嘶家プロフィール～

1961年山形県東田川郡羽黒町生まれ。
1980年鶴岡南高等学校を卒業し、1992年竹の露合資会社に入社。
1994年から米国への輸出をスタートさせ、現在ではイギリス、オランダ、スウェーデン、香港、オーストラリア、ドイツ、中国へも輸出展開している。
2005年、代表社員 製造責任者に就任。1996年以降、全国新酒鑑評会 通算12年金賞受賞。
2012年には地場産酒米100%酒蔵に到達。
さらに活性炭素全廃宣言に向け、意欲的に活動中である。



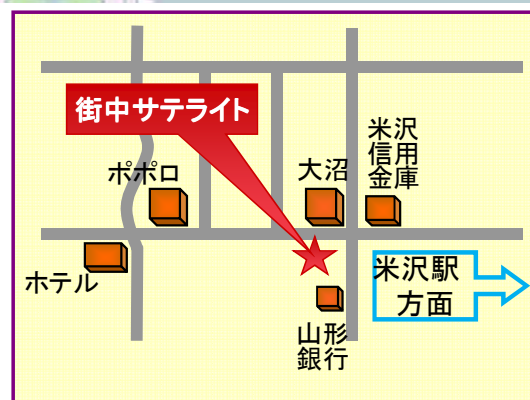
日時：平成25年8月6日(火)

開場 17:30 開演 18:00～20:00

定員：60名(先着順)

入場料：無料

会場：山形大学工学部 米沢街中サテライト1階
(米沢市門東町3丁目1-47)



※専用駐車場はございません。お車でお越しの方は会場近くの
平和通り駐車場等をご利用ください。なお、駐車料金は個人負担となりますので御了承下さい。

お問合せ

山形大学国際事業化研究センター担当：齋藤・小形

TEL:0238-26-3480 E-mail:big-i@yz.yamagata-u.ac.jp